

F S 2 0 0 4 楽しく遊ぼうシリーズ・5

礼文空港

V 1 . 0 0



2 0 0 5 . 6

TONO

目 次

みなさん、こんにちは・・・・・・・・・・・・・・・・	2
礼文空港 制作のきっかけ・・・・・・・・・・・・・・・・	4
礼文空港 位置・・・・・・・・・・・・・・・・	5
礼文空港 R J C R・・・・・・・・・・・・・・・・	7
礼文空港 インストール・・・・・・・・・・・・・・・・	10
礼文空港 添景について・・・・・・・・・・・・・・・・	10
おわりに・・・・・・・・・・・・・・・・	11

みなさん、こんにちは

礼文空港をダウンロードしていただき、まことに有難うございます。
これは、Microsoft Flight Simulator 2004 A Century of Flight 専用です。

楽しく遊ぼうシリーズのテーマは、

皆様といっしょに、もっと自由に楽しく遊ぼう

です。

ご利用上のご注意

その1

このシーナリーは、観賞用のシーナリーではありません。
お手元に届いた皆様が、愛機でフィールドをフライトして遊んでこそ、作者の意図する制作テーマが100%発揮されるシーナリーです。

その2

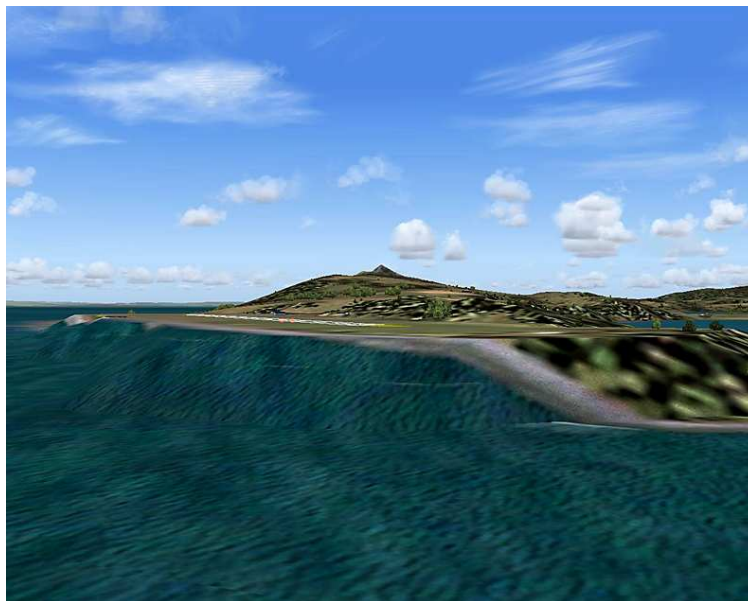
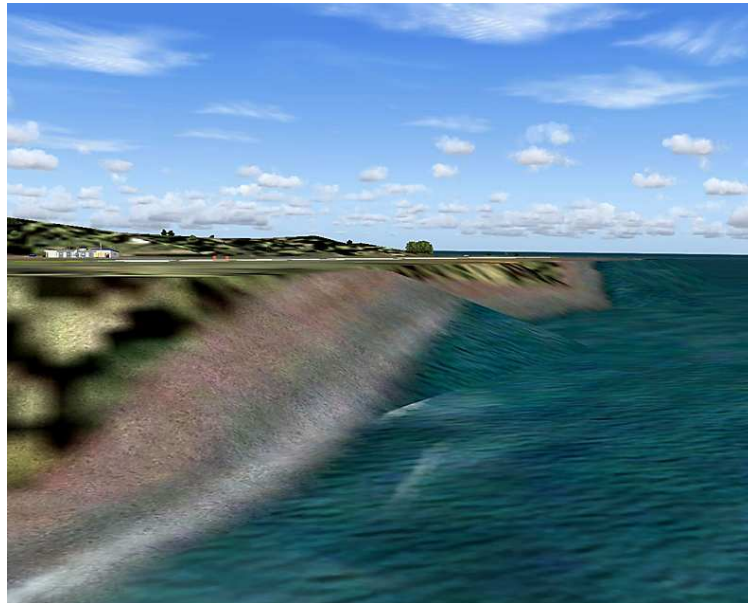
このシーナリーは、ホームページ等で公開されている写真を基本に制作しました。
それらは礼文旅行の思い出写真がほとんどで、駐機場側から写した写真は1枚もありませんでした。
北海道の空港所轄官庁等にも、写真や資料等の公開をお願いしましたが、残念ながらご返事はありませんでした。
私自身も礼文島には行った事がないので、空港の様子はまったくわかりません。
従って、実際の空港と異なる部分もあると思いますので、これは礼文第2空港と解釈していただきたいと思います。
将来、正確な資料や写真等が入手できたら、第2の文字を削除できる空港を制作したいと考えております。

その3

飛行場やシーナリー・オブジェクトについて、設定方法や表現が不自然でおかしな部分もあるかもしれませんが、**すべて作者の好みで選択し採用**しました。
勿論、バグもあるかも知れませんが、皆様からのご意見・ご指摘等ありがたく頂戴し、更なる改良と発展をさせるつもりです。
しかし、ご批判・苦情等の受付けは致しません。
「このシーナリー、くだらないよ」とお考えの方は、その瞬間削除して下さい。
たとえ問題があろうとも、一緒にフライトし、楽しんでいただける見ず知らずの仲間の皆様方に、ぜひ利用していただきたいことだけを願って公開しました。

その4

空港北側の幌泊漁港付近の海岸は盛り上がり、不自然な風景となっています。
これはデフォルトの風景でも現れ、この礼文空港の利用に起因するものではありません。
今回のシーナリーでは、海岸線等の修正まで考慮していませんのでご了承下さい。



その5

礼文空港を使用したことにより、飛行不能、他機との接触、墜落、パイロットのケガなど、そのために発生するいかなる損害に対し、作者は一切の責任を負いません。
自己の責任において、安全運行に心がけ、ご利用お楽しみ下さい。

礼文空港 制作のきっかけ

この作品は、「F S 2 0 0 4 楽しく遊ぼうシリーズ・5」になります。
いままで公開したシリーズのシーナリーは、すべて架空のフィールドです。
しかし今回は、実際にある空港を制作しました。

当初の計画では、楽しく遊ぼうシリーズ・5は「フライトプラン ある日の北海道」の予定でした。

大好きな小型飛行機で、ホームページで無料公開されている空港や飛行場等の作品を利用し、F S 2 0 0 4に登場するデフォルトA I機の離着陸の合間を利用して、北海道をフライトする予定です。

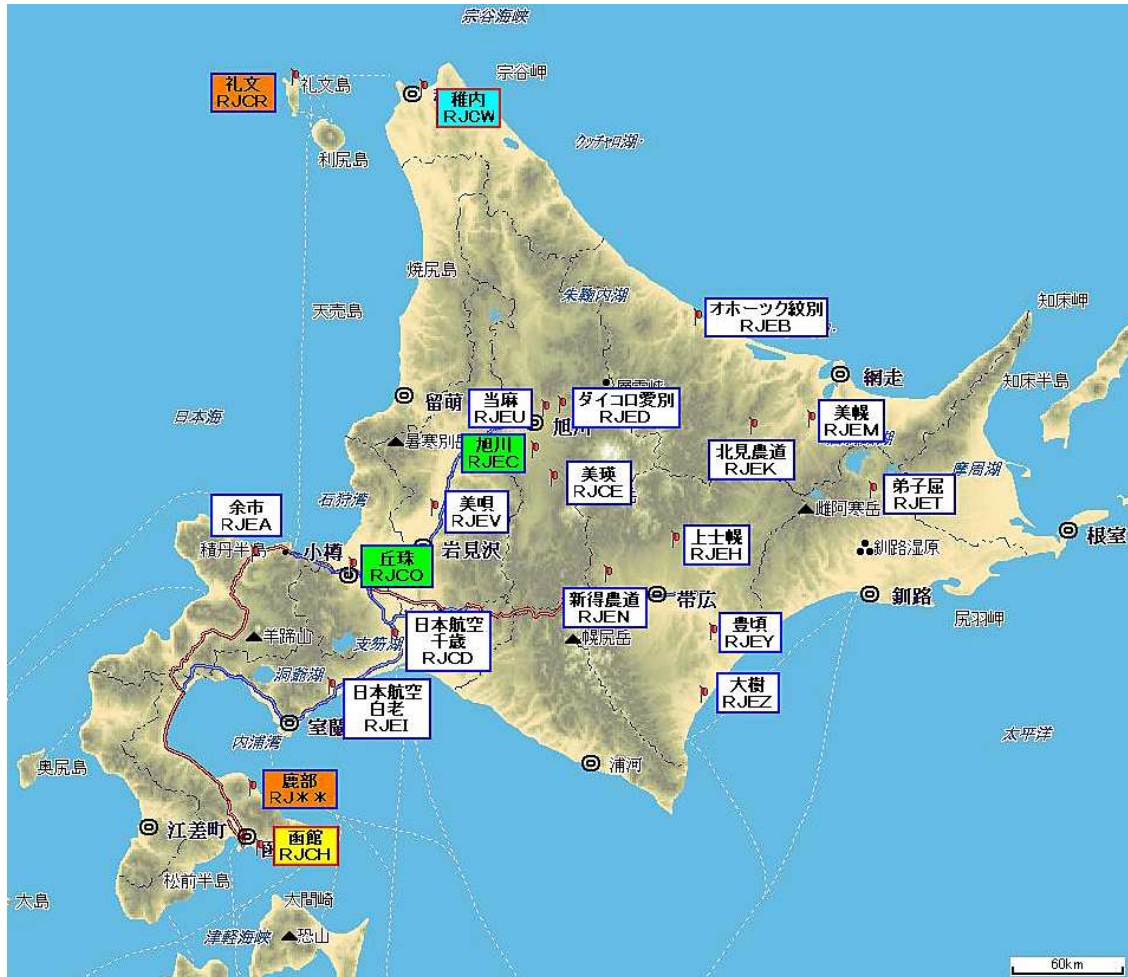
フライトプラン制作の手始めとして、空港や飛行場等をチェックしました。
ところが宗谷岬方面のシーナリーが少なく、何か物足りません。
これでは北海道全域の楽しいフライトが出来ません。
お友だちの作者にも制作を打診しましたが、残念ながら早期着工は不可能とのご返事です。

デフォルトの礼文空港は、空港ビルと格納庫か倉庫みたいな建物が2棟、吹流しなど、定期便の運行停止した小規模空港にもかかわらず、F S 2 0 0 4ではかなり重要視されているようなシーナリーです。
しかしそれらはあくまで仮設建物、やはりもっと楽しくフライトするためには、本物らしい建物が欲しくなります。
そこで今回、自分で制作して遊ぶことにしたのです。

尚、このはじめにお読み下さいに掲載する写真は、制作時期を考慮して、すべて6月としました。

礼文空港 位置

下の地図は、ある日の北海道で利用予定の空港や飛行場です。
礼文空港は、オレンジの背景色で説明された場所にあります。



ゼンリン電子地図帳を利用

白の背景色で説明された空港や飛行場は、F S道楽で山谷さんが公開されているシーナリーです。

緑の背景色で説明された空港は、morimoriさんが公開されているシーナリーです。
黄の背景色で説明された空港は、しろくまさんが公開されているシーナリーですが、FS2002用です。

青の背景色で説明された空港は、k o n i さんが公開されているシーナリーですが、FS2002 用です。

尚、地図に記載された空港や飛行場の名称は、省略した名前となっております。

その他にサウィーさんの新千歳空港も公開されていますが、小型飛行機向きではないので、今回は候補から外しています。

函館近くのオレンジの背景色で説明された鹿部飛行場は、残念ながら現在公開されていません。

この飛行場は、蛇骨シーナリー制作前、私がテストシーナリーとして最初に制作した思い出の飛行場です。

しかし一般公開できる密度ではありませんので、公開が待たれる、小型飛行機にとって重要な飛行場です。

鹿部飛行場は公開されていませんが、これらの空港や飛行場を利用して、フライトプランある日の北海道を制作する予定です。

尚、フライトプランの公開時期は未定です。

フライトプラン制作上のおことわり

上記以外の北海道の空港で、アドオンソフト製品として販売されている素晴らしい作品があります。

小型飛行機が離着陸してもおかしくないものも含まれています。

しかし今回、誰もが気軽に楽しめるように、それらの作品を利用することをあえて止めました。

あくまでホームページ等で、F S ファンの作者が、無料で公開されている作品のみ利用する予定です。

礼文空港 R J C R

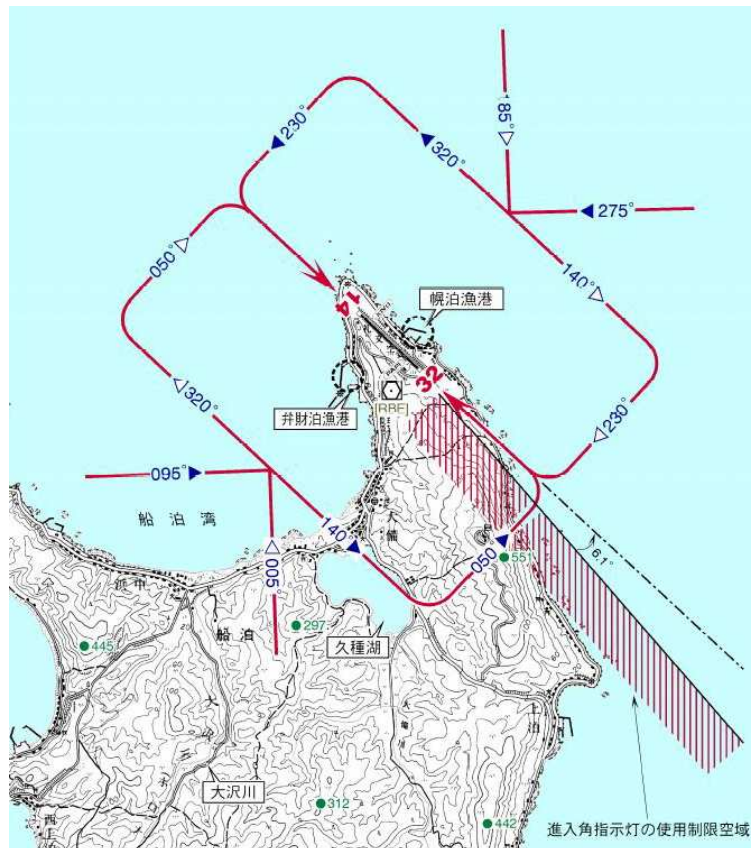
礼文空港は、北海道礼文町にある第3種空港です。

標高 89ft (27m)、フィールド標点は、北緯 45° 27.2938、東経 141° 02.3576 です。

滑走路長は 800m × 25m で、駐機場は小型機用 2 バースです。

空港の運用時間は、午前 9 時から午後 5 時までのため、駐機場にエプロン照明灯がありますが、夜間は時間外のため点灯しません。

滑走路の照明施設は、夜間緊急時対応のため点灯します。



D・GRAPH社の日本の空港から転載しました

注) フィールド標点は、地形を参考に最適な場所に移動・変更して決めました。

デフォルトも含め、実際にある礼文空港の飛行場標点とも異なります。

正確に配置するとしたら、FS2004のデフォルト北海道シーナリーを変更するか、フォトシーナリーを制作する必要があるかも知れません。

あくまで現状の風景に合わせて制作したのです。



礼文空港駐車場側の風景です



エプロン側の礼文空港で、上の写真は夕陽に照らされた空港建物です

礼文空港 インストール

圧縮ファイルを解凍すると、以下のものがあります。

礼文空港 RJCR Rebun

礼文空港 V 1 0 0 .pdf

インストール

- ・ RJCR Rebun を、このまま FS2004 の Addon Scenery 内にコピーして貼り付けて下さい。
- ・ FS2004 を起動し、初期画面から設定を選択します。
シーナリーライブラリ、エリアの追加を選択します。
Addon Scenery を開き、RJCR Rebun を選択します。
シーナリーエリアのタイトルに RJCR Rebun が表示されたら OK をクリックします。
- ・ F S を再起動するとインストール完了です。

礼文空港 添景について

礼文空港のシーナリー制作で、以下の G m a x 作品を利用しました。

風向灯

しろくま氏公開作品

自動車・バイク・自転車・樹木

3 D C A F E 公開作品

注) 作品に登場する上記車両は、公開されている作品を更に改良して利用したのも
もありますので、オリジナルと異なります。

制作され公開された しろくま氏、3 D C A F E に厚く御礼申し上げます。

おわりに



愛機 Tono and CHARLES YD 号です

礼文空港 V1.00、いかがでしょうか。

今回は実際にある飛行場ですが、資料が乏しく、またもや架空の物語になってしまったかも知れません。

しかし公開されている写真のアングルから見ると、それ程違和感が無いような気がしますが、写真に写されてない部分はまったく不明。

また、デフォルトAI機が駐機しているので、もしかしてフライトプランは不必要かも。一体何のために制作したのだろうか・・・。

それでもダウンロードされ、ここまでお付き合いしてくださった見ず知らずの皆様、まことに有難うございました。

これからもっと勉強し、皆様と一緒に楽しく遊べるシーナリーを制作し、公開したいと考えておりますので、宜しく願い申し上げます。

2005.6.7

富野